

# 令和4年度 香川県立図書館の図書館評価

## I 図書館評価の概要

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

- 評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が5項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が7項目となり、評価C(数値目標の達成率80%未満)はなかった。
- 重点目標「1. 図書館資料の整備充実」のうち、「蔵書冊数」については、県民の課題解決支援に役立つ資料や調査研究に必要な専門的資料等を幅広く収集し、数値目標を達成した。引き続き、県民に必要とされる資料や市町立図書館等への支援に必要な資料の整備充実に努める。
- 重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」については、7項目中5項目において、前年度末の実績見込みと同程度あるいは同数を数値目標に設定したが、5項目が目標に達することができなかった。多くの項目で、社会活動の正常化に向けた動きとして、近隣子育て世帯向け施設等が通常開館したことなどの影響を受けたと考えられる。
- 重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」については、「展示等の実施回数」及び「イベント、講座、研修会等の開催回数」が数値目標を大きく上回った。今後とも、関係機関と連携・協力し、県民の多様なニーズに対応した展示、イベントの開催に一層取り組む。一方、数値目標を下回った「ホームページアクセス数」については、コンテンツの充実を進めるとともに、12月のシステム更新に際して新規機能を導入するなど、ホームページの利便性の向上を図り、アクセス数の増加に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,114,000冊	1,114,739冊	100.1%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	1,981冊	86.1%	B
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	400,000人	396,949人	99.2%	B
	④ 新規登録者数	3,400人	3,060人	90.0%	B
	⑤ 個人貸出冊数	850,000冊	802,661冊	94.4%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,250件	1,275件	102.0%	A
	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	6,038冊	92.9%	B
	⑧ 児童団体貸出・学校支援 文庫貸出冊数	8,500冊 団体2,500冊 学校6,000冊	9,307冊 団体3,509冊 学校5,798冊	109.5%	A
⑨ 来館者満足度	90%以上	89%	98.9%	B	
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	360,000件	352,743件	98.0%	B
	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	71回	118.3%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等 の開催回数	20回以上 (うち子ども向け 7回以上)	25回 (10回)	125.0% (142.9%)	A (A)

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)

評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)

評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

## II 図書館評価の達成状況

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,114,000冊	1,114,739冊	100.1%	A

### <達成状況等>

- 蔵書については、資料受入冊数が16,438冊（内訳：購入12,152冊、寄贈3,786冊、再用・その他500冊）で、廃棄冊数が768冊となり、差し引き15,670冊増加して蔵書冊数が1,114,739冊と、数値目標を739冊（0.1%）上回った。
- 特に、県民の課題解決に役立つ資料を提供するコーナーの充実のため、県民が生活上、仕事上に役立つ資料や社会的に関心の高い資料に留意して収集したほか、調査研究に必要な専門的な資料、郷土資料、児童資料を重点的に収集した。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
1,063,486	1,081,663	1,099,069

### <今後の取組み>

- 県民の新刊を充実してもらいたいとの要望に応じて、課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、本県の中核図書館として市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集する。
- 郷土資料及び児童資料については、引き続き優先的に購入する一方、文芸書は定評のある著者の作品や受賞作、書評等に取り上げた作品を中心に収集し、家政、芸術、趣味など、類書が多数出版される分野については厳選して収集するなど、適切な資料の収集・保存に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	1,981冊	86.1%	B

### <達成状況等>

- 郷土資料の受入冊数については、県、市町及び関係機関等へ寄贈の呼びかけを行い、行政資料等の収集に努めているが、近年、行政資料等の冊子体での発行を取りやめ、代わりにWebで公開するようになったこともあり、数値目標を319冊（13.9%）下回った。
- 郷土資料の受入冊数の内訳は、購入365冊、寄贈1,503冊、再用・その他113冊となった。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
2,320	2,369	2,362

### <今後の取組み>

- 本県や県内市町に関する資料及び県内で発行された資料を積極的に収集し、県民に提供するとともに、貴重な文化資源として永年保存に努める。
- 郷土資料は、一般に流通していないものが多いため、県庁各課には、行政資料や専門雑誌を、県民には、本県に関する幅広い分野の資料についての寄贈依頼を行う。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	400,000人	396,949人	99.2%	B

<達成状況等>

- 台風14号の接近に伴い、9月19日(祝)を臨時休館にしたことや、社会活動の正常化に向けた動きとして、高松市こども未来館(高松ミライエ)やさぬきこどもの国など子育て世帯向けの施設が通常開館したことなどの影響を受け、数値目標を3,051人(0.8%)下回った。
- 令和3年度(409,783人)と比較すると12,834人(3.2%)下回っており、特に5月と11月の減少が顕著で、この2か月で減少全体の41.1%を占めた。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
481,282	373,213	409,783

<今後の取組み>

- 人生100年時代を見据え、県民の多様なニーズへの対応や学習情報の提供など、県民の生涯学習活動を支える基盤として、県民が気軽に利用できる身近な図書館をめざして、利用者サービスの向上に努める。
- 市町立図書館や関係機関、ボランティア団体等と連携を一層密にし、地域や住民の課題解決を支援する機能や読書バリアフリー法を踏まえた読書環境の充実に努める。
- 展示、イベント等の企画や広報を積極的に実施し、利用促進を図る。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	3,400人	3,060人	90.0%	B

<達成状況等>

- 新規登録者数は、数値目標を340人(10.0%)下回った。
- 年代別の新規登録者数を前年度と比較すると、60歳以上が23人(9.4%)増加したものの、0~12歳が160人(15.4%)、19~39歳が136人(10.5%)それぞれ減少するなど、小学生以下の児童やその親世代にあたる年齢層の登録減少が、数値目標を下回った要因とみられる。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
3,736	3,015	3,334

<今後の取組み>

- 新規採用の教職員や県職員、相互協力協定を結ぶ香川大学図書館や近隣の高校等に対して、県立図書館の利用案内を配布するなどPRに努めるとともに、見学で来館する小学校や未就学児施設の児童や教育関係者に図書館の利用方法を周知することにより、図書館の利用や新規登録を引き続き呼びかける。
- 12月のシステム更新に際し、オンラインでの新規登録申込みを開始することにより、利用者の利便性向上を図り、新規登録者の増加を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 個人貸出冊数	850,000冊	802,661冊	94.4%	B

#### <達成状況等>

- 令和4年度の個人貸出冊数は、一般書が404,420冊（前年度433,846冊 ▲6.8%）、児童書が340,325冊（前年度360,323冊 ▲5.6%）となり、数値目標を47,339冊（5.6%）下回った。
- 年代別の個人貸出冊数を前年度と比較すると、特に、19～39歳が16,834冊（9.2%）、40～59歳が22,895冊（8.8%）それぞれ減少している。
- 県民の新刊を充実してもらいたいとの要望を受けて、課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料などの重点的収集に努めたが、数値目標を達成できなかった。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
884,294	821,206	857,678

#### <今後の取組み>

- 地域の課題解決や社会人の学び直しに対応するため、日常生活や仕事に役立つ資料、社会的に関心の高い資料、調査研究に必要な専門的資料など利用者の多様なニーズに応える資料の収集に努める。
- 多彩なテーマによる所蔵資料の展示など、幅広い層の利用者に対し魅力ある資料をアピールする取組みを行い、利用者と図書を結びつけること等により、貸出冊数の増加につなげる。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ レファレンス件数（クイックレファレンスを除く）	1,250件	1,275件	102.0%	A

#### <達成状況等>

- レファレンスについては、参考資料及び基本図書の充実やレファレンスサービスの広報に努めた結果、数値目標を25件（2.0%）上回った。
- 内訳は、来館者の口頭での質問が640件、電話での質問が419件、文書での質問が34件、メールでの質問が182件であった。
- 夏季休業期間中には、郷土資料コーナーで「身近な地域を調べよう」、児童資料コーナーで「香川のことをしらべる本」、Young Generationコーナーで「夏休みお助け本」の展示を実施し、児童・生徒の調べ学習の支援に取り組んだ。
- 資料や情報の探し方をテーマごとに案内する「香川県立図書館調べ方ガイド」を、新たに大人向け2テーマ、子ども向け1テーマそれぞれ作成した。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
1,179	1,200	1,470

#### <今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の一層の充実に努めるとともに、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- 引き続き、新たなテーマで「調べ方ガイド」を作成するなど、レファレンスサービスについて、より一層の広報に努める。
- 県民が調査や研究を行う際、インターネットを通じて、当館のレファレンス事例を容易に参照できるよう、国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例登録に取り組む。
- 夏季休業期間中には、児童資料コーナー、Young Generationコーナー、郷土資料コーナーにおいて、調べものに役立つ資料を重点的に展示し、自由研究などに活用してもらう。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	6,038冊	92.9%	B

#### <達成状況等>

- 協力貸出については、個人貸出冊数と同様に減少し、数値目標を462冊（7.1%）下回った。
- 協力貸出対象ごとに、市町立図書館へは6,021冊、公立図書館未設置町（直島町、琴平町）の公民館等へは17冊貸し出した。
- 協力貸出冊数の1館当たりの平均は183冊で、最多貸出館は823冊であった。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
6,472	6,668	6,672

#### <今後の取組み>

- 本県における中核図書館として、市町立図書館を支援するために必要な資料を重点的に収集し、市町立図書館への支援に努める。
- 県立図書館と市町立図書館等における、協力貸出資料の搬送を行う協力便については、継続的に週2回の運行に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	8,500冊 団体2,500冊 学校6,000冊	9,307冊 団体3,509冊 学校5,798冊	109.5%	A

#### <達成状況等>

- 児童団体貸出・学校支援文庫貸出については、社会活動の正常化に向けた動きがあるなか、ボランティア団体等によるおはなし会の再開や、放課後デイサービス3団体が新規登録して貸出しを始めたことにより、数値目標を807冊（9.5%）上回った。
- 学校支援文庫貸出冊数の内訳は、小学校版が5,618冊、中学校版が180冊であった。
- 学校支援文庫の利用案内を、ホームページの「子どもの読書応援ページ」や県情報ネットワーク（庁内LAN）の掲示板に掲載したほか、県教育センター及び高松市総合教育センターでの新規採用教員研修等で周知し、利用促進に努めた。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
9,258冊 団体3,338冊 学校5,920冊	7,831冊 団体2,251冊 学校5,580冊	8,958冊 団体2,818冊 学校6,140冊

#### <今後の取組み>

- 児童団体貸出及び学校支援文庫について、引き続き利用促進を図り、子どもの読書習慣の一層の定着を図る。特に、中学校における学習活動や読書活動の支援強化に向け、学校支援文庫中学校版及び資料団体貸出の利用促進を粘り強く続ける。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ 来館者満足度	90%以上	89%	98.9%	B

#### <達成状況等>

- 来館者満足度は、数値目標を1%下回った。
- 令和5年1月31日(火)～2月5日(日)の6日間、来館者を対象に「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。526人(18歳以下31人(5.9%)、19～39歳126人(23.9%)、40～45歳153人(29.1%)、60～74歳153人(29.1%)、75歳以上61人(11.6%)、無回答2人(0.4%))の回答のうち、当館サービスの満足度についての質問に対して、満足261人(49.6%)、やや満足209人(39.8%)との回答を得た。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
89%	88%	88%

#### <今後の取組み>

- アンケート調査結果において、当館サービスを評価する点としてあげられた、「閲覧室内の快適性」や「豊富な所蔵資料」「職員の対応」については、引き続き、高い評価が得られるよう適切な施設管理や新鮮で魅力ある資料の収集、親しみの持てる利用者対応に努める。
- 特に、アンケート調査で要望が高い「新しい資料の充実」をすすめるため、資料購入費の獲得に引き続き取り組み、来館者満足度向上を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数(図書館トップページ)	360,000件	352,743件	98.0%	B

#### <達成状況等>

- ホームページアクセス数については、数値目標を7,257件(2.0%)下回った。
- 内訳は、Webサイト282,039件、携帯サイト907件、スマートフォンサイト37,803件、市町立図書館用サイト31,994件となった。特に、スマートフォンサイトのアクセス数が前年度に比べ、7,805件(26%)増加した。
- スマートフォンサイトについては9月から、画面上に「資料貸出カード」のバーコードを表示させることにより、「資料貸出カード」の代わりに資料を借りられるよう機能強化を図った。
- 当館に所蔵する江戸時代や明治時代に作成された絵図や古文書などの郷土資料をデジタル化しインターネット上で公開する「香川県立図書館デジタルライブラリー」では、1月に22点を新たに追加し、公開点数が406件となった。

元年度実績	2年度実績	3年度実績
405,315	351,947	352,351

#### <今後の取組み>

- ホームページは当館における重要な情報発信ツールであることから、引き続き、企画展示やイベントなどの情報をタイムリーに発信するほか、新たなテーマの「調べ方ガイド」掲載や「デジタルライブラリー」のコンテンツ充実など、ホームページの魅力向上に努める。
- 12月のシステム更新に際して新規機能を導入するとともに、既存機能の操作性を改善させるなど、ホームページの利便性向上を図る。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	71回	118.3%	A

<達成状況等>

- 展示等の実施については、展示コーナーでの企画展示や各コーナーでの時宜に合ったテーマの展示を積極的に実施し、数値目標を11回（18.3%）上回った。
- 香川県健康福祉部薬務課と連携した企画展示「ハンセン病を考える～回復者による文化活動・文芸活動を通じて～」や県立図書館と県内公共図書館25館が、2回目となる連携企画展示「#つながる図書館」を県内で一斉に実施するなど、県内のさまざまな関係機関と連携した多彩な展示に取り組んだ。
  - ・展示コーナー企画展示等15回（うち他の機関と連携・協力した展示7回）
  - ・イベント関連本展示等12回
  - ・子育て支援コーナー企画展示4回
  - ・健やか生活応援コーナーミニ展示6回
  - ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示6回
  - ・Young Generation コーナーミニ展示など10回
  - ・児童資料コーナー「今月の本」など14回
  - ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」3回
  - ・郷土資料コーナーミニ展示1回

元年度実績	2年度実績	3年度実績
74回	76回	70回

<今後の取組み>

- 新たな利用者の獲得や関連資料の貸出のきっかけとなるよう、今後とも、関係機関と連携・協力するなどして、利用者の興味を喚起する新鮮で魅力あふれる展示を企画・実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	4年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け7回以上)	25回 (うち子ども向け10回)	125.0% (142.9%)	A (A)

<達成状況等>

- イベント、講座、研修会等については、感染症対策を講じたうえで開催した結果、開催回数20回以上（うち子ども向け7回以上）の数値目標を5回（25.0%）（うち子ども向け3回（42.9%））上回った。
- イベントによっては参加申込みを「県電子申請・届出システム」により受付し、参加者の利便性向上を図った。
- 図書館職員や活動中のボランティアを対象に全3回の「子どもと本をむすぶスキルアップ講座」に加え、図書館職員・学校図書館職員を対象に「ブックトークを学ぶオンライン講座」を開催した。また、関係機関と連携した新たな取組みとして、県環境森林部みどり整備課と共同で、「香川の木と森の魅力を知るイベント」を開催した。
  - ・イベント12回
    - 子ども読書まつり3回、図書館コンサート2回、関係機関との連携によるイベント2回
    - 高校生によるおはなし会1回、図書館探検2回、職員によるおはなし会2回
  - ・講座8回
    - 高校生を対象にした読み聞かせ講座1回、健やか生活応援講座2回
    - 子どもと本をむすぶスキルアップ講座3回、ブックトークオンライン講座1回
    - 子育て支援講座1回
  - ・研修会等5回
    - 図書館職員研修会（初任者研修1回、専門研修1回）、香川県図書館大会1回、実務担当者会2回

元年度実績	2年度実績	3年度実績
21回	20回	23回

<今後の取組み>

- 子どもから大人まで様々な利用者が参加でき、県民が図書館への理解を深めたり、自主的、自発的に学習することができる催しを企画し開催する。また、国や県などの関係機関と連携して、地域の課題解決に役立つイベントや講座の開催に努める。
- 子どもの読書活動を推進する人材の資質向上を図るため、令和5年度は、学校司書、司書教諭や図書館職員、ボランティアを対象に、「子どもの本と読書の講座」を開催する。
- 市町立図書館職員を対象とした、専門的な知識・技術に関する研修を開催するとともに、市町立図書館実務担当者会を開催し、互いに学び研鑽しあうことができる機会を設ける。

### Ⅲ 外部評価

令和4年度図書館評価の達成状況については、令和5年7月27日開催の令和5年度第1回香川県立図書館協議会において、委員の外部評価を受けた。

<委員からの意見>

- 達成状況の分析が的確にできており、今後の取組みについても、一定の見通しが立てられている印象を受けた。
- 各評価指標に対する実績の背後には、数値目標の達成に向けた様々な取組みがあることが、達成状況に垣間見られる。
- 評価のAとBに関して、図書館の努力が直接結果に反映される項目はA評価となっている。日常の図書館業務の姿勢が結果に現れており高く評価できる。一方、B評価の項目は図書館の働きかけが利用者を通してしか反映されず、苦戦を強いられている。すぐに改善できる特効薬はないので、丁寧な取組みの継続に期待したい。
- 図書館サービス充実の要件であるレファレンスサービスについては、メールによる質問の受け付けや「調べ方ガイド」の作成等、さまざまな努力が数的な実績につながっていると思われる。利用者の満足度を高めるには、より一層のきめ細やかな対応が求められる。
- 図書館のサービスやイベント、展示等の積極的な広報に努め、重点目標ごとに設定した評価指標の実績向上につなげてもらいたい。